



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月3日

上場会社名 セーレン株式会社 上場取引所 東
コード番号 3569 URL <https://www.seiren.com>
代表者(役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男
問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 業務統括本部長 (氏名) 勝木 知文 TEL 0776-35-2111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	49,145	21.0	6,667	23.5	7,096	24.4	4,656	13.9
2026年3月期第1四半期	40,625	5.0	5,399	31.1	5,705	23.6	4,088	16.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 6,853百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 138百万円(△98.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	79.25	78.76
2026年3月期第1四半期	69.71	69.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	227,826	165,758	72.3	2,810.78
2026年3月期	223,926	161,787	71.8	2,734.60

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 164,808百万円 2026年3月期 160,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	38.00	—	38.00	76.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	38.00	—	38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	195,300	13.7	22,600	8.5	23,000	4.5	15,700	267.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	64,633,646株	2026年3月期	64,633,646株
2027年3月期1Q	5,999,405株	2026年3月期	5,825,848株
2027年3月期1Q	58,764,395株	2026年3月期1Q	58,642,880株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の通商政策の動向や中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まり、物価上昇やエネルギー・原材料価格の高止まり、為替相場の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力等、非財務価値を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第1四半期の連結業績は、売上高491億45百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益66億67百万円（同23.5%増）、経常利益70億96百万円（同24.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益46億56百万円（同13.9%増）となり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は第1四半期として過去最高となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

[セグメント別の業績概況]

(車輛資材事業)

国内事業については、中東情勢の影響による原材料、エネルギーコスト上昇の影響を受けたものの、カーシート材における商品構成の変化および新型車種向け販売の拡大に加え、エアバッグについても新型車種向けの受注が増加したことにより、増収・増益となりました。

海外事業（2026年1～3月）については、アメリカでは前年に一部商材が好調であった反動から売上が減少し、メキシコにおいても電気自動車販売の伸び悩み等の影響を受けました。アジア地域では、中国の世聯汽車内飾（蘇州）有限公司において高付加価値製品の販売が堅調に推移したことに加え、原価低減活動の効果もあり好調に推移しました。また、タイにおいてカーシート材の販売が増加した一方、一部拠点では自動車販売市場の動向等の影響を受け、海外事業全体では減収・減益となりました。

なお、2026年1月1日に連結子会社となったNBセーレン(株)の自動車向け資材等が当セグメントに加わりました。

以上により、車輛資材事業全体では、増収・増益となりました。

当事業の売上高は304億26百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は45億7百万円（同8.2%増）となりました。

(ハイファッション事業)

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。

単体では、スポーツ、インナーおよびファッション衣料向け商材の販売が低調に推移したものの、原価低減活動等の効果により増益となりました。KBセーレン(株)においては、定番系は伸び悩んだものの、特殊原系が順調に推移しました。一方、Saha Seiren Co., Ltd.においては、前年特需の反動により売上が減少しました。

以上により、ハイファッション事業全体では減収・増益となりました。

当事業の売上高は52億23百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は4億69百万円（同7.4%増）となりました。

(エレクトロニクス事業)

モバイル機器関連向け商材やAI関連向けサーバー用途の資材が好調に推移したほか、宇宙システム事業の売上が寄与したこと等により、単体では増収・増益となりました。KBセーレン(株)においては、データセンター向けHDDワイピングクロス「ザヴィーナ」の需要が回復するとともに、海外半導体メーカー向け防塵衣用導電糸「ベルトロン」が順調に推移しました。

また、セーレンアドバンストマテリアルズ(株)においては、シリコンウェーハの酸化膜加工（厚膜・薄膜）の販売が順調に推移しました。

以上により、エレクトロニクス事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は37億19百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は10億7百万円（同60.0%増）となりました。

（環境・生活資材事業）

住宅資材において、中東情勢を背景とした資材供給への懸念から前倒し需要が発生しました。一方、KBセーレン(株)では民生資材の売上が回復したほか、NBセーレン(株)の産業資材向け繊維や不織布等が当セグメントに加わりました。

以上により、環境・生活資材事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は59億93百万円（前年同期比147.9%増）、営業利益は5億19百万円（同131.4%増）となりました。

（メディカル事業）

人工血管やサポーター等の健康・医療資材が堅調に推移しました。一方、KBセーレン(株)においては、貼付材の売上が減少したほか、一部商材においてコストアップの影響を受け、減収・減益となりました。また、NBセーレン(株)の貼付材向け短繊維等が当セグメントに加わりました。

以上により、メディカル事業全体としては増収・増益となりました。

当事業の売上高は20億77百万円（前年同期比20.0%増）、営業利益は2億93百万円（同24.6%増）となりました。

（その他の事業）

(株)ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業やセーレン商事(株)の保険代理業は堅調に推移しました。また、NBセーレン(株)の包装フィルムや容器類向け原料販売等が当セグメントに加わりました。

以上により、その他の事業全体としては増収・増益となりました。

当事業の売上高は17億5百万円（前年同期比753.6%増）、営業利益は2億15百万円（同48.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して38億99百万円増加の2,278億26百万円となりました。流動資産は、有価証券の増加などにより、前連結会計年度末と比較して18億46百万円の増加となりました。固定資産は、建設仮勘定や投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して20億52百万円増加しました。負債の部は、支払手形及び買掛金が増加した一方、賞与引当金が減少したことなどにより、71百万円減少し、620億67百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加や為替換算調整勘定の変動があったことなどにより、全体で39億71百万円増加し、1,657億58百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は343億95百万円となり、前連結会計年度末より1億96百万円増加しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、61億72百万円の収入（前年第1四半期連結累計期間は23億24百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益71億20百万円、減価償却費16億46百万円などによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、36億65百万円の支出（前年第1四半期連結累計期間は4億89百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出27億86百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出10億34百万円があったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、32億6百万円の支出（前年第1四半期連結累計期間は35億88百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払による支出22億34百万円、自己株式の取得による支出6億14百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国の通商政策の動向や中東情勢をはじめとする地政学リスク、原材料・エネルギー価格の動向、為替相場の変動等、先行き不透明な要素があるものの、当第1四半期の業績が過去最高であり、今後、車両資材事業やエレクトロニクス事業を中心に業績が計画通り推移すると判断したことから、2026年5月13日に公表した通期の業績予想を上方修正いたします。

2027年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2026年4月1日～2027年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 190,300	百万円 20,900	百万円 21,100	百万円 15,000	円 銭 255.07
今回修正予想 (B)	195,300	22,600	23,000	15,700	267.58
増減額 (B－A)	5,000	1,700	1,900	700	
増減率 (%)	2.6	8.1	9.0	4.7	
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	171,765	20,832	22,005	15,599	265.48

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,894	39,158
受取手形、売掛金及び契約資産	46,652	46,585
有価証券	4,444	5,618
商品及び製品	18,977	19,469
仕掛品	7,592	7,487
原材料及び貯蔵品	9,397	9,148
その他	3,801	4,137
貸倒引当金	△76	△76
流動資産合計	129,682	131,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,778	25,919
機械装置及び運搬具（純額）	16,252	16,157
工具、器具及び備品（純額）	1,003	970
土地	21,071	21,463
建設仮勘定	6,453	7,796
有形固定資産合計	70,560	72,307
無形固定資産		
のれん	159	119
その他	2,975	3,053
無形固定資産合計	3,134	3,172
投資その他の資産		
その他	20,653	20,920
貸倒引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	20,549	20,817
固定資産合計	94,244	96,297
資産合計	223,926	227,826
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,918	21,625
短期借入金	1,344	1,344
未払法人税等	2,455	2,462
賞与引当金	2,077	939
その他	10,317	10,950
流動負債合計	37,113	37,322
固定負債		
長期借入金	7,871	7,547
役員退職慰労引当金	119	119
株式報酬引当金	346	396
退職給付に係る負債	5,611	5,660
企業結合に係る特定勘定	4,491	4,491
その他	6,587	6,531
固定負債合計	25,026	24,745
負債合計	62,139	62,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	20,040	20,036
利益剰余金	106,928	109,350
自己株式	△10,357	△10,956
株主資本合計	134,132	135,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,644	6,800
為替換算調整勘定	19,416	21,472
退職給付に係る調整累計額	622	584
その他の包括利益累計額合計	26,683	28,857
新株予約権	465	454
非支配株主持分	505	495
純資産合計	161,787	165,758
負債純資産合計	223,926	227,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	40,625	49,145
売上原価	28,827	35,727
売上総利益	11,798	13,417
販売費及び一般管理費	6,399	6,750
営業利益	5,399	6,667
営業外収益		
受取利息	275	236
受取配当金	149	232
補助金収入	71	42
その他	39	147
営業外収益合計	535	658
営業外費用		
支払利息	44	15
有価証券評価損	130	—
為替差損	51	209
その他	2	4
営業外費用合計	229	229
経常利益	5,705	7,096
特別利益		
固定資産売却益	5	24
特別利益合計	5	24
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	5,710	7,120
法人税等	1,603	2,442
四半期純利益	4,106	4,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,088	4,656

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,106	4,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200	155
為替換算調整勘定	△4,214	2,058
退職給付に係る調整額	45	△38
その他の包括利益合計	△3,968	2,175
四半期包括利益	138	6,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136	6,830
非支配株主に係る四半期包括利益	2	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,710	7,120
減価償却費	1,459	1,646
固定資産処分損益 (△は益)	△4	△24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,008	△1,324
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△53	△7
受取利息及び受取配当金	△424	△468
支払利息	44	15
為替差損益 (△は益)	182	△228
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,875	849
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,446	163
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,759	335
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△112	△4
その他	738	442
小計	4,337	8,515
利息及び配当金の受取額	480	444
利息の支払額	△34	△13
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,458	△2,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,324	6,172
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,220	△2,786
有形固定資産の売却による収入	21	25
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△209	△1,034
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2	200
定期預金の純増減額 (△は増加)	1,915	△67
その他	△20	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	489	△3,665
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△4,266	△323
自己株式の取得による支出	—	△614
配当金の支払額	△2,227	△2,234
非支配株主への配当金の支払額	△93	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,588	△3,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,396	896
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,170	196
現金及び現金同等物の期首残高	40,317	34,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,146	34,395

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	27,650	5,423	3,201	2,418	1,731	40,425	68	40,494	—	40,494
その他の収益	—	—	—	—	—	—	130	130	—	130
外部顧客への 売上高	27,650	5,423	3,201	2,418	1,731	40,425	199	40,625	—	40,625
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	19	72	72	7	172	168	340	△340	—
計	27,650	5,443	3,274	2,490	1,738	40,597	368	40,966	△340	40,625
セグメント利益	4,167	437	629	224	235	5,694	145	5,839	△440	5,399

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	30,426	5,223	3,719	5,993	2,077	47,440	1,573	49,013	—	49,013
その他の収益	—	—	—	—	—	—	132	132	—	132
外部顧客への 売上高	30,426	5,223	3,719	5,993	2,077	47,440	1,705	49,145	—	49,145
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	15	253	71	4	345	193	539	△539	—
計	30,427	5,238	3,973	6,065	2,081	47,785	1,899	49,685	△539	49,145
セグメント利益	4,507	469	1,007	519	293	6,798	215	7,014	△347	6,667

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

(1) 車両資材……………自動車・鉄道車両等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)

(2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工

(3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、電子機器、シリコンウェーハの成膜加工、人工衛星関連部材

(4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木・農業関連資材

(5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装フィルム・容器類の原料販売、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第1四半期連結累計期間430百万円、当第1四半期連結累計期間350百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。